

第 1 期入間市スポーツ推進計画の達成状況

1 概要

本市では、第 1 期計画（平成 27 年から令和 5 年）において、子どもから大人、高齢者や障害のある人まで、市民の誰もがそれぞれのライフステージに応じて、スポーツに親しみ、スポーツの楽しさや感動をわかち合い、心身ともに健康で活力に満ちたまちを目指し、「生涯スポーツの推進」、「スポーツ環境の整備」に取り組んできました。

2 基本理念及び基本目標の現状と課題

(1) 基本目標「週 1 回以上のスポーツ実施率 50%以上」の達成状況

平成 23 年	平成 26 年	令和元年	令和 3 年
38.0%	41.0%	43.2%	43.9%

【取組状況】

- ・基本目標の「週 1 回以上のスポーツ実施率（成人）50%以上」は、令和 3 年度時点でまだ達成していないが、計画策定前と比べて、年々増加傾向にあります。
- ・スポーツをしていない方は、計画策定前と比べて、全体の 3 割と横ばいであり、その理由についても、時間、家事、仕事が支障となることに変化は見られません。
- ・スポーツをしていない方が活動を始めたくなるきっかけ作りが必要です。

3 基本施策の現状と課題

①生涯スポーツの推進

(1) 総合型地域スポーツクラブの育成及びレクリエーション団体の支援

【取組状況】

- ・総合型地域スポーツクラブは、現在市内に 2 団体ありますが、自立して活動されており、市による実態把握や支援は行っていません。
- ・入間市レクリエーション協会と連携し、毎年度「生涯スポーツフェア」や「軽スポーツ教室」を開催し、レクリエーションの普及に努めました。
- ・平成 23 年度設立の T. A. P いるま総合型地域スポーツクラブは、現在未登録。

【課題】

- ・既存スポーツ団体の活動をふまえ、地域に根ざし、地域に開かれたクラブのあり方を再検討する必要があります。また、今後は、活動の実態把握とともに、必要に応じた支援を行うべきであると考えます。
- ・レクリエーションの普及にあたっては、事業企画や情報発信についてレクリエーション協会とともに効果的な方策を検討する必要があります。

(2) 子どもの体力向上及び運動習慣の定着

【取組状況】

・市や指定管理者、団体、民間教育事業者等により様々なスポーツ教室が行われ、子どもの体力増進や社会性の向上に取り組みました。

(例) ・市及び指定管理者

卓球、ソフトボール、サッカー、テニス、ミニバス、陸上競技、体操等

・児童センター・青少年活動センター

リズムなわとび、ジャズダンス、ツリークライミング等の教室

・公民館等のサークル活動

未就園児と保護者を対象としたリズム遊び、幼児も参加できるダンスや体操、空手、剣道、サッカー等の団体が活動

・指導者の資質向上を図るための講座を実施しています。

【課題】

・子どもがスポーツに苦手意識を持たないように、幼児や小学校低学年の頃は、特定の競技に限定せずに体を動かす楽しさを体験できる機会の充実が必要です。

・中学校の部活動の種目の限定化により、進学後にスポーツを中断してしまわないよう、部活動を存続させるための外部講師の紹介や地域スポーツ団体の支援等の検討が必要です。

・民間を含めた子どものスポーツ活動の状況を把握し、機能分化や必要に応じて連携する必要があります。

(3) 健康・体力づくりの推進

【取組状況】

・主に公民館や高齢者支援課、老人クラブ、地区スポーツ協会、地域包括支援センター等が、高齢者の介護予防や健康づくりを目的にグラウンドゴルフ、軽スポーツ、レクリエーション等を多数実施しました。 ※コロナ禍においては中止

・一般の方を対象としたスポーツとして、地区体育祭や武道祭、駅伝大会や軽スポーツ教室、玉入れ大会、文化財や自然観察等を組み合わせたウォーキング等を行いました。

※コロナ禍においては中止

【課題】

・スポーツをしていない層に向けた魅力的な事業企画や効果的な広報、ニーズに対応した施設サービス等について、民間スポーツ施設とも連携しながら推進することが必要です。

(4) 競技スポーツ団体等の支援

【取組状況】

・上位大会に出場する競技団体・個人に対し奨励金を贈呈し、競技団体を応援しました。

・トップアスリートの指導によるスポーツ教室、プロスポーツの試合招致等を行いました。

- ・ハイレベルなプレーを「観る」スポーツとして、大相撲入間場所（H. 28）やバスケットボールリーグ（B3 リーグ）の埼玉ブロンコス公式試合（H. 30）を行いました。
- ・スポーツ少年団を存続するための施策として、会員募集の記事の市公式ホームページへの掲載や指導者講習会を開催しました（R4. 11 月）。

【課 題】

- ・令和元年度に実施したスポーツ・レクリエーション団体を対象としたアンケート結果によると、会員確保や指導者確保、施設・設備の充実、活動場所の拡充など多くの課題が存在しています。

(5) 障がい者スポーツの推進

【取組状況】

- ・障がいのある人を対象に「障害者フライングディスク教室」「障害者スポーツ大会」を実施しました。また、体育施設指定管理者と市民団体の共催によりパラスポーツ体験を実施しました。
- ・平成29・30年度の市民体育館の耐震補強等工事の際にトイレやシャワーのユニバーサルデザイン化を図りました。
- ・公共施設マネジメント事業計画に基づき地区体育館の多目的トイレを整備しました。また、令和2年度には車いす兼用卓球台を購入しました。

【課 題】

- ・障がい者が一般のスポーツ・レクリエーション活動に参加できるよう、庁内関係部署が連携したボランティアの研修や指導者の確保に努める必要があります。

4 スポーツ環境の整備

(1) スポーツ指導者等の充実

【取組状況】

- ・スポーツリーダー養成講座及びレクリエーション指導者養成講座は終了としましたが、指導者のみでなく広く選手を支えることに視点を置いた講座を実施しました。
- ・市スポーツ推進委員が毎年事業運営や事業協力を行い、市民のスポーツ活動を推進しています。（健康体力測定やフライングディスク教室の運営など）
- ・スポーツボランティアの確保については、市駅伝競走大会等の運営に中学生や高校生から協力を得ています。体育施設の指定管理者（振興公社）においては、運営ボランティア等の募集を行なっています。

【課 題】

- ・活動者のニーズに対応した指導者の育成や指導者同士の交流機会の確保が必要です。
- ・ボランティア人材バンクのシステムを構築する等、スポーツに関わる人の裾野を広げながら、スポーツを多くの市民で盛り上げ、市民同士の連帯感や地域への誇りを喚起していくことが重要です。

(2) 優秀選手・団体等の顕彰

【実施状況】

- ・毎年度、市スポーツ協会と連携してスポーツ賞の授与や、全国大会等へ出場した選手・団体に対し奨励金を交付しています。また、市長を表敬訪問した選手や団体を、報道機関等へ情報提供し、市民周知に努めています。

【課題】

- ・情報収集を密に行うとともに、多様な種目で成績を収めた選手やチーム、様々な形で市のスポーツ活動に尽力された方を広く顕彰する方策を検討することが必要です。

(3) スポーツ施設の充実

①スポーツ施設の充実

- ・公共施設マネジメント事業計画に基づき、スポーツ施設の計画的な改修工事を行うとともに、緊急を要する修繕や備品購入に随時取り組みました。

(例) R3 年度 : 西武地区体育館

R3~4 年度 : 藤沢地区体育館改修工事

R4 年度 : 黒須地区体育館改修工事

②学校体育施設等の活用促進

- ・学校開放制度を円滑に運用し、市民のスポーツ活動の場として、学校体育施設の有効活用を図りました。
- ・令和4年度から入間基地内の病院グラウンドの市民利用を開始しました。

③スポーツ施設の管理運営

- ・指定管理者制度を導入し、市及び地区体育施設の管理運営を行っています。
- ・受益者負担の観点から、中央テニスコートの人工芝改修に合わせ、使用料改定を行いました。
- ・今後はニーズに対応し、活動場所の拡充に向けた大学等との交渉や、既存施設の利便性向上のための検討を行い、施設の側面からも活動支援を行う必要があります。